■ ■ キュービックはこんな塾 ■ ■

★『学校第一主義』――都立入試･推薦入試で大勝利！

キュービックでは、**学校の授業がよくわかるようになり、定期テストの点数が伸びることを第一に考えた授業**をおこなっています。この方針で、ほとんどの生徒が**内申点の大幅アップに成功**し、今回の入試でも、中３生の大半が、**第一志望校に合格**しました。さらに、成績アップに加え、面接・小論文・集団討論等についても十分に指導をおこなったことにより、**卒業生47名中16名は、都立･国立･私立の推薦入試での合格**を勝ち取りました。

（都立入試において、内申点の占める割合は入試得点の３割に過ぎないとは言え、**内申点は決して減ることのない「持ち点」である**ことを考えると、内申点が持つ意味合いは相当大きいと言えるでしょう。第一志望校を安全校として受験するためには、内申点ができるだけ高い状態で受ける必要があります。また、多摩地区の私立高校入試では、内申点のみを基準にして合否を決める推薦制度や、**高校側が示す内申点の基準をクリアした生徒を優遇する第二志望受験**等による入学者が大半を占めています。）

都立入試も私立入試も、まずは学校の成績を上げることから始まります。「受験のために」という目標よりも、**「今度のテストでもっといい点数をとるために」という目標**のほうが、生徒にとっては身近に感じられ、**「やる気」**も引き出されます。

極端に速い進度で学習を進め、早い時期から入試問題の演習に着手しなくても、入試には十分間に合います。この方向性の正しさは、毎年の**キュービック卒業生の合格実績が証明**しています。ただし、こうした成果は、普段の授業の中でも常に入試問題を意識して授業を進めることにより、一般の入試問題に対応できるだけの理解を与え、また、都立上位高の記述式の高度な問題にも対応できる能力を養っていくという、**キュービック独自のノウハウ**が可能にしているのです。

2018-19 年度 都立高校入試 合格実績(一部) 《拝島１教室のみの実績です。》									
八王子東高校	1	国分寺高校	1	国立東京工業高専	1	小金井北高校		1	
日野台高校	1	昭和高校	2	南平高校	1	小平高校(外国語)		3	
東大和南高校	4	小平南高校	2	上水高校	2	府中高校	2	ほか	
2018-19 年度 私立高校入試 合格実績(一部) 《拝島１教室のみの実績です。》									
明学東村山高校	1	錦城高校	4	拓殖大第一高校	9	八王子学園八王子(選抜)		3	
聖徳学園高校	2	共立女子第二	2	明法高校	3	工学院大付属	4	ほか	

※大規模塾の合格実績は全教室の合計で示されていますので、１教室ごとの授業内容が一定のレベルに達していないこともあります。

学校での学習課題を十分にこなし、定期テストの準備をしっかり行うこと……やはり、これこそが高校入試に向けての準備の第一歩です。

★システム化された塾の授業では、生徒の負担が増すばかり！

大規模塾のように、学校の進度とは全く無関係にどんどん進むカリキュラムでは、**塾と学校の二本立ての勉強**をすることになり、**生徒の負担が大きくなる**ばかりでかえって逆効果です。例えば、今度の期末テストの範囲は『平方根』なのに、塾のカリキュラムではもう一つ先の『２次方程式』をやっている、といった**ズレが常に起こっている**のです。次のテストに出ないとわかっていることを積極的に練習しようという心構えを持てる生徒など、なかなか いないことでしょう。このような状態を放置すると、学校の授業もわからなくなるばかりか、**塾の授業さえ消化不良**のまま終わってしまいます。